いっしょに読むためのガイド

こぶたたちに ごようじん！



作	対象年齢	形式	段階
マリア・ホセ・マルケス	3〜6歳	絵本	幼児期

心の育ち　ともに過ごす・やさしく頼む　教室と家庭

このガイドの内容

01 心の育ちのねらい
02 読む前の活動と、年齢別の問いかけ
03 教室と家庭でのまとめと発展のアイデア
04 幼児期の学びの領域とのつながり
05 子ども向け用語集と関連資料

本について

1 授業の前にお話を知ろう。

– 昔話を、さかさまに –

『こぶたたちにごようじん！』は「3びきのこぶた」をひっくり返したお話です。オオカミの**オットー**は大きくて、毛むくじゃらで、とてもおだやか。したいのはクッキーを焼くことだけです。家をふきとばすのは、においにつられたいたずらな3びきのこぶた。ユーモアとやさしさで、「たいていのことは魔法のことばでかなう」というシンプルで大切な会話をひらきます。

作	形式	対象年齢
マリア・ホセ・マルケス	**絵本**	**3〜6歳**

テーマ

- とらずに頼む：「おねがい」のことば
- 立ちなおる力：あきらめずにまたやってみる
- うらまずにゆるすこと
- お話にはいくつもの見方がある
- やさしさとマナー
- 気持ちの調整（クッキーを焼いて落ちつく）
- 見た目で決めつけない
- 友情と、いっしょに料理すること

> “どのお話も、大切な会話を思いやりをもってひらくことをめざしています。
>
> — EDITORIAL VÍNCULO

ねらい
2 ねらいと育つ力。

3〜6歳の子どもたちへ

ともに過ごす

争わずに解決する

ほかの子どもとの日常のもめごとを、争わない方法で解決する。

→ この絵本の中心：ふいたり、とったりせずに「おねがい」と頼むこと。

きまりと約束

みんなのためにいっしょにつくったきまりや約束を守る。

→ ドアをノックして「おねがい」と言うことを、みんなの約束に。

思いやりと助けあい

友だちの気持ちによりそい、話を聞き、支え、協力する。

→ オットーはこぶたたちをゆるし、さいごはいっしょにクッキーを焼きます。

自分らしさと自立

気持ちを伝える

お話を聞いて感じた気持ち（好き、こわい、うれしい、おこる）を、まわりに伝える。

→ オットーはお話の中で、こわさ、くやしさ、笑いを経験します。

気持ちの調整

自分やまわり、グループのことを考えながら、気持ちを調整して表す。

→ オットーはあきらめません。家を建てなおし、クッキーを焼いて落ちつきます。

ねらい・つづき

2 ことばの力と心の力。

ことば

音への気づき

ことばの音に気づく：音の数をかぞえる、はじめとおわりの音。

→ ことばが変わる歌：わら → えだ → れんが。

推測と予想

よく聞いて、推測したり予想したりしながらお話を理解する。

→ 子どもたちはくりかえしを先取りし、つぎの家を予想します。

育つ心の力

やさしさ	「おねがい」で頼み、「ありがとう」でこたえる。
立ちなおる力	うまくいかなくても、あきらめずにまたやってみる。
気持ちの調整	気持ちが大きくゆれたとき、落ちつける方法を見つける。
思いやり	「悪者」に見えても、どうしてそうしたのかを考える。
ゆるすこと	関係をなおして、うらまずに前へ進む。

はじめる前に・指導のポイント

- 「3びきのこぶた」を知っているとより楽しめます。まずお話を思い出してみましょう。
- 歌を生かしましょう。歌いながら読み、文にあわせて声を大きくします（ふつう → もっと大きく → 力いっぱい）。
- 変わることばの前で間をとり、子どもたちに言ってもらいましょう。
- 結末は言わずに、「魔法のことば」を自分たちで見つけさせましょう。

読む前の活動

3 絵本をひらく前の準備。

はじめるための3つのアイデア

1 お話の悪者はだれ？ 10分

みんなで「3びきのこぶた」を思い出しましょう。家をふきとばすのはだれ？ 悪者はだれ？ 答えを記録し、読み終えたあとに比べます。

ことば・予想・見方

2 ふしぎな表紙 5分

表紙を見せて聞いてみましょう。オオカミはどうしたのかな？ なぜこわがっているの？ どんなお話だと思う？

ことば・予想

3 わたしたちの歌 5分

読む前にくりかえしの歌を教え、読みながらいっしょに歌えるようにします。「いっぽ にほ、ぺた ぺた ぺた！ おうちを つくろう、とん とん とん！…」 手拍子で音をかぞえましょう。

ことば・音への気づき

読みながら

- くりかえしのたびに、文にあわせて声を大きくして歌いましょう。
- 変わることば（わら／えだ／れんが）の前で間をとり、子どもたちに言ってもらいましょう。
- 「トン、トン、トン！」のたびに聞きましょう。こぶたたちは何と言えばいいかな？

ふりかえりの問い

4 読んだあとに — グループに合わせて。

3〜4歳

オオカミの名前は？ いちばん好きなことは？

家がふきとばされたとき、オットーはどんな気持ちだった？

こぶたたちが言うべき魔法のことばは？

活動: 好きなクッキーを描いて、友だちに「それ、ください。おねがい」と頼んでみよう。

4〜6歳

こぶたたちは、どうして頼まずに家をふきとばしたの？

家をなくしたとき、オットーはどうした？ あきらめた？

はじめはオオカミが悪者だと思っていたけれど…本当にそう？ どうして？

やっと「おねがい」と言ったら、どうなった？

活動: 「おねがい信号」で遊ぼう：赤＝頼まずにとる、緑＝「おねがい」と頼む。

お話をくらべる・考える力

知っていた「3びきのこぶた」と、にているところ、ちがうところは？

同じお話を、ちがう見方で語ることはできる？ はじめに書いた答えを見なおそう。「悪者」についての考えは変わった？

まとめと発展

5 教室と家庭で学びを深めるために。

教室で

おねがい信号

教室でよくある場面を紹介し、子どもたちにカードを正しい色に動かしてもらいます：赤（とる）か緑（「おねがい」と頼む）。2つの魔法のことば「おねがい」と「ありがとう」を練習しましょう。

習慣

おねがいの輪

輪になって、やわらかいものをまわします。持っている人は「おねがい」を使ってみんなに何かを頼みます（はくしゅ、えがお、ハグ）。さいごにみんなで「ありがとう」。

実験

どの家がのこるかな？

わら・えだ・「れんが」（ブロック）の小さな山に、息をふきかけます（せんぷうきでも）。どれがのこる？ 絵で記録しよう：原因と結果。

家庭で

いっしょに焼こう

家庭での課題：家族でクッキーをつくります。分ける前に「ひとつください。おねがい」と頼みます。つぎの時間にみんなで話しましょう。

計画にあたって

- 3〜6歳の幼児教育の場に適しています。
- 主な領域：ともに過ごす力、自分らしさと自立、ことば。
- 2〜3回の活動としてまとめて使えます。

用語集と資料

6 話しあいに役立つことば。

おねがい	何かをかってにとらずに、やさしく頼むときのことば。
やさしさ	自分とちがう人にも、あたたかく、ていねいに接すること。
立ちなおる力	むずかしいことがあっても、あきらめずにまたやってみること。何度も家を建てるオットーのように。
気持ちの調整	気持ちが大きくゆれたとき、落ちつけるものを見つけること（オットーはクッキーを焼くと落ちつきます）。
ゆるすこと	おこった気持ちを手ばなして、まちがえた人にもう一度チャンスをあげること。
オノマトペ	音をまねたことば：ぺたっ！、トントン！、ふーっ。

おすすめの関連資料

お話 · 3びきのこぶた（昔ながらのお話）— くらべるために

お話 · The Wolf's Chicken Stew · Keiko Kasza

シリーズ · The Wolf Who... · Orianne Lallemand

資料 · この絵本のアクティビティ集と家族向けガイド

このガイドを使ってみましたか？

どうだったか、ぜひ教えてください。SNSで感想をシェアしたり、メールをお送りください。みなさんの声が、つぎの教材づくりにつながります。

→ editorialvinculo.cl

→ contacto@editorialvinculo.cl

→ @editorialvinculo